



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場会社名 グンゼ株式会社

コード番号 3002 URL <http://www.gunze.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平田 弘

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部 (氏名) 富岡 修  
広報IR室長

TEL 06-6348-1314

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	105,614	1.3	2,001	△46.5	2,074	△46.6	△1,306	—
23年3月期第3四半期	104,236	△2.7	3,742	9.9	3,884	2.5	2,516	80.0

(注)包括利益 24年3月期第3四半期 △2,227百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △169百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第3四半期	△6.77	—
23年3月期第3四半期	12.90	12.87

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	174,076	110,261	62.6
23年3月期	163,917	113,345	68.6

(参考)自己資本 24年3月期第3四半期 109,021百万円 23年3月期 112,448百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年3月期	—	—	—	7.50	7.50
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	137,000	2.5	1,000	△67.6	800	△75.6	500	△72.2	2.59

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	209,935,165 株	23年3月期	209,935,165 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	16,863,953 株	23年3月期	16,853,412 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	193,074,298 株	23年3月期3Q	194,997,931 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年12月31日）におけるわが国経済は、東日本大震災とその後の電力供給問題による企業活動の混乱や消費の低迷に加え、欧州財政危機に端を発した海外経済の減速や長期化する円高、タイの洪水被害による影響など、不透明な状況が続きました。

当社グループにおいては、機能ソリューション事業は、国内における海外廉価品の増加や欧米景気の減速、タイの洪水影響等から、厳しい経営環境で推移しました。また、アパレル事業においても、節電需要などが高まったものの、資源価格等の高止まりやPB（プライベートブランド）商品の増加による一層の競争激化により厳しい状況が続きました。

このような状況のなか、今期からスタートさせた中期経営計画『Innovation 4S（平成23年度～平成25年度）』の重点戦略である「成長確保」と「体質強化」を展開し、激変する市場環境への対応力強化に取り組みました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は105,614百万円（前年同期比1.3%増）、営業利益は2,001百万円（前年同期比46.5%減）、経常利益は2,074百万円（前年同期比46.6%減）となりました。また、投資有価証券評価損の計上や税制改正に伴い繰延税金資産を取り崩したことから四半期純損失は1,306百万円（前年同期は四半期純利益2,516百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### <機能ソリューション事業>

プラスチックフィルム分野では、震災後の供給不足や電力供給不安による前倒し需要などから上半期は堅調に推移しましたが、第3四半期以降、流通在庫の増加および海外からの廉価品流入などから、受注が減少しました。エンジニアリングプラスチックス分野では、長引く円高や欧米の景気低迷に加えて、タイの洪水によるサプライチェーンの混乱などの影響を受けました。電子部品分野は、タブレット端末向け透過型静電容量方式タッチパネルが、急激な市況悪化を受け減産を余儀なくされました。メディカル分野は、欧米では苦戦しましたが、中国をはじめアジア地域が堅調に推移しました。以上の結果、機能ソリューション事業の売上高は39,590百万円（前年同期比9.2%増）、営業利益は2,915百万円（前年同期比9.6%減）となりました。

#### <アパレル事業>

インナーウェア分野は、大手流通のPB（プライベートブランド）商品が拡大するなか、NB（ナショナルブランド）商品のファッション・カジュアル商品やシーズン機能商品が苦戦し、綿製品の価格を改定しましたが、綿糸価格等の原価高影響により、効果は限定的となりました。レグウェア分野は、柄物などファッション商品の苦戦が続きましたが、機能性を打ち出したベーシック商品や防寒対策商品は好調に推移しました。以上の結果、アパレル事業の売上高は57,610百万円（前年同期比2.6%減）、営業利益は1,351百万円（前年同期比31.2%減）となりました。

#### <ライフクリエイト事業>

不動産関連分野は、商業施設「グンゼ タウンセンター つかしん」が、新規テナント導入や地域密着型の販促に努めましたが、消費低迷および近隣商業施設のオープン・増床の影響を受け苦戦しました。また、テナント招致をすすめていた前橋商業施設は、昨年12月にリニューアルオープンしました。スポーツクラブ分野は、積極的な新規顧客獲得や効率的な運営により堅調に推移しました。以上の結果、ライフクリエイト事業の売上高は9,304百万円（前年同期比4.2%減）、営業利益は461百万円（前年同期比54.8%減）となりました。

**(2) 連結財政状態に関する定性的情報**

総資産は、174,076 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 10,159 百万円増加しました。主な増加要因は、受取手形及び売掛金の増加 7,758 百万円、たな卸資産の増加 4,797 百万円であり、主な減少要因は、投資有価証券の減少 3,206 百万円であります。

負債は、63,815 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 13,243 百万円増加しました。主な増加要因は、コマーシャル・ペーパーを含む長短借入金の増加 11,954 百万円、支払手形及び買掛金の増加 1,844 百万円であります。

純資産は、110,261 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 3,084 百万円減少しました。主な減少要因は、配当による減少 1,448 百万円、四半期純損失の計上による減少 1,306 百万円、為替換算調整勘定の減少 543 百万円であります。

**(3) 連結業績予想に関する定性的情報**

機能ソリューション事業は、透過型静電容量方式タッチパネルの受注が予想を下回り、アパレル事業も秋冬物商戦において市場競争の激化等により苦戦しており、また、投資有価証券評価損の計上や税制改正に伴う繰延税金資産の取崩し影響等により、通期連結業績は前回予想を下回る見込みとなったことから、下記のとおり業績予想を修正しております。

なお、配当予想につきましては前回予想（期末配当 7 円 50 銭）から変更しておりません。

平成 24 年 3 月期（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	143,500	3,500	3,400	2,100	10.88
今回発表予想 (B)	137,000	1,000	800	500	2.59
増減額 (B-A)	△6,500	△2,500	△2,600	△1,600	—
増減率	△4.5%	△71.4%	△76.5%	△76.2%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 23 年 3 月期)	133,705	3,085	3,285	1,796	9.23

**2. サマリー情報（その他）に関する事項**

**(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動**

該当事項はありません。

**(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用**

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

そのため、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

**(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示**

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,905	8,169
受取手形及び売掛金	27,122	34,880
商品及び製品	17,436	19,759
仕掛品	6,423	7,623
原材料及び貯蔵品	5,673	6,948
その他	4,189	4,740
貸倒引当金	△28	△21
流動資産合計	67,722	82,099
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	36,770	38,059
機械装置及び運搬具（純額）	12,811	15,180
土地	11,996	11,902
その他（純額）	5,890	2,971
有形固定資産合計	67,468	68,114
無形固定資産	2,190	1,972
投資その他の資産		
投資有価証券	16,698	13,492
その他	9,985	8,540
貸倒引当金	△147	△141
投資その他の資産合計	26,536	21,890
固定資産合計	96,194	91,977
資産合計	163,917	174,076

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,844	9,689
短期借入金	3,993	4,167
コマーシャル・ペーパー	12,800	21,700
1年内返済予定の長期借入金	1,081	1,076
未払法人税等	509	295
賞与引当金	1,311	370
その他	7,717	9,140
流動負債合計	35,257	46,439
固定負債		
長期借入金	5,175	8,061
退職給付引当金	4,623	4,044
長期預り敷金保証金	4,906	4,769
その他	608	500
固定負債合計	15,313	17,376
負債合計	50,571	63,815
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,071	26,071
資本剰余金	14,082	14,080
利益剰余金	80,033	77,377
自己株式	△7,286	△7,287
株主資本合計	112,900	110,242
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,592	2,318
繰延ヘッジ損益	△416	△367
土地再評価差額金	△400	△400
為替換算調整勘定	△2,228	△2,771
その他の包括利益累計額合計	△452	△1,221
新株予約権	200	240
少数株主持分	697	999
純資産合計	113,345	110,261
負債純資産合計	163,917	174,076

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	104,236	105,614
売上原価	75,354	78,905
売上総利益	28,881	26,708
販売費及び一般管理費	25,139	24,706
営業利益	3,742	2,001
営業外収益		
受取利息	24	9
受取配当金	362	292
固定資産賃貸料	442	473
投資有価証券割当益	145	—
その他	176	149
営業外収益合計	1,151	925
営業外費用		
支払利息	117	104
固定資産賃貸費用	419	447
為替差損	292	166
その他	178	134
営業外費用合計	1,009	852
経常利益	3,884	2,074
特別利益		
固定資産売却益	62	41
貸倒引当金戻入額	8	—
違約金収入	1,337	—
退職給付信託設定益	969	1,492
その他	16	37
特別利益合計	2,393	1,571
特別損失		
固定資産除売却損	115	149
投資有価証券評価損	2	2,357
退職給付費用数理差異償却額	1,685	1,869
事業構造改善費用	287	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	62	—
その他	24	59
特別損失合計	2,179	4,435
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	4,098	△789
法人税等	1,572	639
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	2,525	△1,429
少数株主利益又は少数株主損失(△)	9	△122
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,516	△1,306

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	2,525	△1,429
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,633	△268
繰延ヘッジ損益	△284	48
為替換算調整勘定	△776	△579
その他の包括利益合計	△2,694	△798
四半期包括利益	△169	△2,227
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△149	△1,988
少数株主に係る四半期包括利益	△19	△238

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日至平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	機能ソリューション事業	アパレル事業	ライフクリ エイト事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	36,117	59,026	9,092	104,236	—	104,236
セグメント間の内部 売上高又は振替高	153	140	624	918	△ 918	—
計	36,271	59,167	9,716	105,155	△ 918	104,236
セグメント利益	3,223	1,965	1,021	6,210	△ 2,467	3,742

(注)セグメント利益の調整額△2,467百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、当該費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	機能ソリューション事業	アパレル事業	ライフクリ エイト事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	39,455	57,484	8,674	105,614	—	105,614
セグメント間の内部 売上高又は振替高	135	126	629	891	△ 891	—
計	39,590	57,610	9,304	106,505	△ 891	105,614
セグメント利益	2,915	1,351	461	4,728	△ 2,726	2,001

(注)セグメント利益の調整額△2,726百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、当該費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。